



小川はつらつ朝市の盛り上げ

地域団体との協働

商店街活性化



NPO
法人

せんがく
仙覚万葉の会
(比企郡小川町)

地域
団体

小川はつらつ
朝市実行委員会
(比企郡小川町)

毎月開催される小川町の朝市で、NPO法人が、鎌倉時代に小川町で万葉集注釈（仙覚抄）を書き上げたといわれる学問僧「仙覚律師」にまつわるイベントを実施して、来場者を喜ばせている。100回記念大会では、エコキャンドルを点灯し幻想的な夜を演出した。

協働のきっかけ

地元の商店を活気づけたいと、商店会有志が実行委員会を立ち上げ、8年前から月に1度、朝市を開いている。

NPO法人は、万葉にちなんだ町おこしや観光振興を考え、古代米や万葉染色など地域文化に関わるオリジナル商品の開発や万葉衣装を着て撮影ができるイベント、納涼市での万葉灯籠の製作・活用などの企画を実行委員会に提案してきた。



文化財保護 観光振興

協働のメリット

ブースの出店やイベントを通して、たくさんの人と交流ができています。様々なイベントを企画することで、商店街に来ていなかった新興住宅地の住民も、朝市に興味を持って訪れてくれる。

NPO法人の公式サイトでの幅広い情報発信も効果をあげている。



朝市100回記念
エコキャンドルの夕べ

NPO
法人

地域
団体

オリジナル商品の販売や、万葉にちなんだ衣装を着て写真撮影を行うイベントなど、今までにはない企画で朝市を盛り上げてくれる。

100回を記念したエコキャンドルは、朝市のチラシで廃油や空き缶の提供を家庭に呼びかけて作り上げたイベントだった。点火されたときには、数多くの来場者が訪れ、喜んでくれた。

苦労・工夫したこと

NPO
法人

NPO法人の活動目的である郷土の偉人「仙覚」の顕彰への取組は、町民からは難しそうだと思われていた。NPO法人の会員は比較的新しい住民たちだったため、商店街をはじめ古くから住む町民との関係が希薄であった。

そこで、朝市や七夕まつり、福祉イベントへの参加や、万葉植物の植栽などを通して活動を広くPRし、交流を深めている。

地域
団体

協働が進むうちにNPO法人の商品開発やイベントのアイデアと実行力が分かったので、頻りに連絡や相談をするようになった。